

北摂懇談会

北摂地域の病診連携のきっかけに

マックスシール病院を見学



▲施設の構造や人員体制を説明

◀院長の興幸彦氏

6月13日、北摂懇談会は、池田市にある医療法人マックスシール病院の施設見学を開催し、吹田地域や三島地域の先生を含め、10人が参加しました。

マックスシール病院は、池田市をはじめ大阪北摂地域の人の健康と生活を支え、法人内の介護施設などと連携して医療と介護を境目なく提供する急性期病院です。

整形外科はもとより幅広い診療科をそろえて、多種多様な患者のニーズに応えるとともに、心臓ペースメーカー、リウマチ、乳腺・甲状腺、睡眠時無呼吸症候群などの専門外来や、75歳以上の高齢者から24時間365日救急患者の受け入れや夜間診療にも積極的に対応しています。

はじめに、院長の興幸彦先生より挨拶がありました。「10床の有床診療所として、外科科から始まり、1994年に現在のマックスシール病院となり長年にわたり地域の健康を支えてきた」と述べられました。また、「地域の開業医の先生方が『困ったときに相談で

整形外科はもとより幅広い診療科をそろえて、多種多様な患者のニーズに応えるとともに、心臓ペースメーカー、リウマチ、乳腺・甲状腺、睡眠時無呼吸症候群などの専門外来や、75歳以上の高齢者から24時間365日救急患者の受け入れや夜間診療にも積極的に対応しています。

はじめに、院長の興幸彦先生より挨拶がありました。「10床の有床診療所として、外科科から始まり、1994年に現在のマックスシール病院となり長年にわたり地域の健康を支えてきた」と述べられました。また、「地域の開業医の先生方が『困ったときに相談で

また、新設された地域包括医療棟の引出も行ったと述べられました。

次に、介護老人保健施設、在宅介護支援センターを訪問。120床を備えた老健施設には中庭があり、入所者が自然の移り変わりを楽しめるよう工夫していることがわかりました。病院の隣接するリハビリテーション特化型のデイサービスに移動し、理学療法士より1日3時間型のデイサービスを中心に「習い事感覚」で楽しく参加できるのが特徴の施設との説明がありました。

見学終了後は、北摂懇談会世話人の中村厚氏が謝辞を述べ、病診連携のきっかけとなる交流の場となりました。

また、新設された地域包括医療棟の引出も行ったと述べられました。

次に、介護老人保健施設、在宅介護支援センターを訪問。120床を備えた老健施設には中庭があり、入所者が自然の移り変わりを楽しめるよう工夫していることがわかりました。病院の隣接するリハビリテーション特化型のデイサービスに移動し、理学療法士より1日3時間型のデイサービスを中心に「習い事感覚」で楽しく参加できるのが特徴の施設との説明がありました。

見学終了後は、北摂懇談会世話人の中村厚氏が謝辞を述べ、病診連携のきっかけとなる交流の場となりました。

各種相談

予約は1週間前まで。会場は保険医協会仮事務所
TEL 06-6568-7721まで。

法律相談

日時 9月1日(月)
午後2時~4時
相談員 大前治弁護士
申込み 〇で経営務部担当事務局まで

年金・保険相談

日時 9月10日(水)
午後2時~4時
相談員 協会提携生命保険会社のファイナンシャルコンサルタント
申込み 〇で経営務部担当事務局まで

日時 8月20日(水)
午後2時~5時
相談員 竹内克謹 税理士
申込み 〇で経営務部担当事務局まで

申込み 〇で経営務部担当事務局まで

戦記小説、歴史小説に新境地を開き、珠玉の短編小説も数多く残した吉村昭(1927~2006)は、若き日に筋骨切除の手術によって奇蹟的に死を免れた経験を持ち、それが生涯の作品モチーフになりました。

吉村は病気になる前中学生の頃、寄宿通いの楽しさを知ります。1949年のエッセイ「悪い癖」に述べられています。学校からの帰途、駅の時鐘の音に制服の上衣、制服それに肩からさげる布製の靴をはずし、寄宿に行き、屋敷なので客は少く、それも老いた男たちだけで、煙草をくわえたりして落語や談話を

坐して高座に顔をむけていた。

「こうした楽しみの発見は、行きつけの理髪所が浅草湯島地下にあった主人

作家

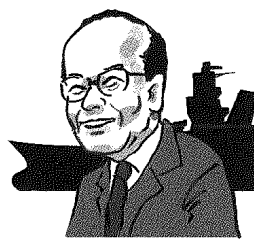
寄席集め

吉村 昭



恩田 雅和

1949年9月新潟市生まれ。2007年1月天満天神繁昌亭支配人。2012年公益社団法人上方落語協会理事。



に出る前のサラリーマン時代を含めた苦節を振り返った私小説『一家の主』(1974年毎日新聞社)に書かれています。この中に

いた」といって、落語「平林の節そのまの記述もありました。

さて『一家の主』に六時間近い落語の手術を受けた

いたかった。息を吸い吐くことを、一度でもつづけて死にたかった。

吉村が死去した直後の2006年10月の『新潮』

は、勤め先の社長が新人女子社員の名を平林とまちがえておぼえたりして、「一十八の木木(もくもく)君」など声をかけては、なんとしてでも生きて

に、遺作の短編小説「死顔」が掲載されています。兄の葬儀に出たものの死顔を見たくない「私」は、幕末の蘭方医佐藤泰然の延命治療を拒んだ死に方が賢明な自然死で理想に近いと言いつつも、遺作の載った『新潮』に、吉村の妻が作家の津村節子とその「遺作について」を同時発表しました。それによると吉村は死の間際点滴の管のつなぎ目をはずし、カテーテルを引きぬいて「もう死ぬ」と言ったそうです。「佐藤泰然の如く自ら死を迎え入れた」吉村に、「死顔」を「あはれいい作品よ。私が言うのだから信じてね」と津村は語り掛けた。

新規提携

総合型福利厚生サービス

福利厚生倶楽部

医院・歯科医院でこんなお悩みありませんか？

- ☐ 採用・定着がうまくいかず、優秀な人材が流出してしまう・・・
- ☐ 低コストで、手間をかけずに福利厚生制度を導入したい！
- ☐ 導入した福利厚生を、従業員がなかなか利用してくれない・・・

そのお悩み、福利厚生倶楽部で解決できるかもしれません！

サービスの詳細・お問い合わせ等は大阪府保険医協同組合 (TEL 06-6568-2230) まで！

組合員限定
入会金
50%
OFF

育児・介護
休業法改正に
(2025年10月施行)
一部対応！



▲詳しくはこちら

